

防災まちづくりの目標

水・みどり・人とのふれあいを大切に、さまざまな人が安心して
住みつづけられるまち「大森中・蒲田・萩谷」

- 燃えない、燃え広がらない安全なまちづくり
- 水・緑・広場を活用した快適なまちづくり
- いざというときに助け合える防災まちづくり

防災まちづくり計画(案)

1. 道路

防災性の高い道路を整備・改善する

- (1)防災上重要な道路を整備する
- (2)隅切りの整備を推進する
- (3)狭い道路や行き止り道路を改善する
- (4)電柱の移設、地下化を図る
- (5)道路におけるルールを守るまちにする

2. 公園・広場

公園・広場等による防災空間づくりを進める

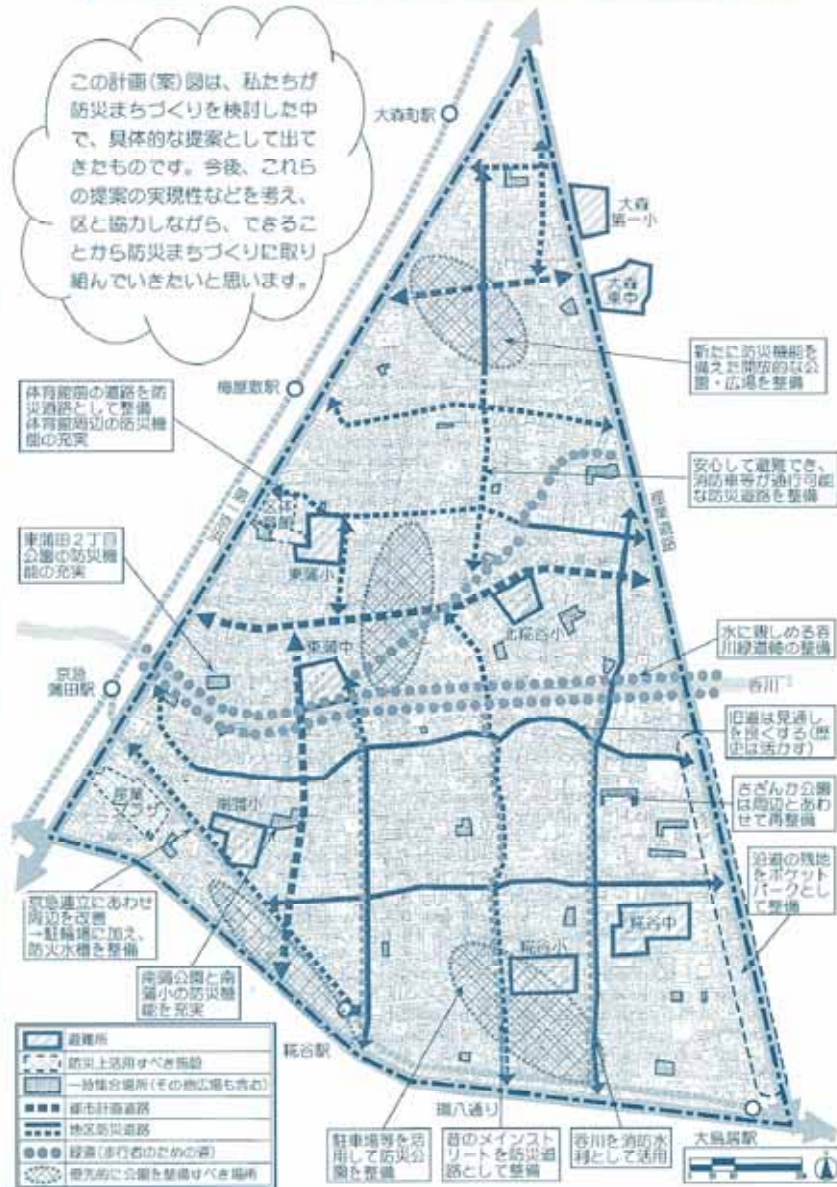
- (1)既存の公園・児童公園・児童遊園を再整備する
- (2)防災機能を備えた防災広場を整備する
- (3)耐火樹木等による緑化を推進する
- (4)呑川緑道の整備を推進する

3. 建物

燃えない、倒れないまちづくりを進める

- (1)燃え移らない、燃え広がらないまちを作る
- (2)避難所及び避難経路となる道路沿道の不燃化を推進する
- (3)倒れない、崩れない住宅づくりを目指す

大森中・蒲田・萩谷地区防災まちづくり計画(案)図



4. 防災施設

防災施設の整備及び充実を図る

- (1)小・中学校をはじめとする避難所の防災活動拠点機能の強化を図る
- (2)既存の計画に併せて防災空間の充実を図る
- (3)防災活動拠点として町会会館等の防災機能の充実を図る
- (4)消防水利の定期的点検と、防災井戸等の設置を図る

5. まちづくり活動

地区で一体となった防災活動を推進する

- (1)防災意識の向上のために取り組む
 - ・夜間パトロール、まちづくりニュースの発行を定期的に継続して行う
 - ・まちづくりイベント等の実施により、地域の方々の意識の向上を図る 等
- (2)いざというときにあわてないために、できることから活動する
 - ・日頃から住民と区、住民同士の役割分担を明確にする
 - ・防災施設の鍵の管理者、管理場所を明確にする
 - ・防災訓練のマナー化をさせ、訓練に変化をもたせると共に、小中学校による防災訓練と町会による防災訓練の統合化を図る
 - ・非常時の際に対処できるように、平常時からさまざまな立場、業種の人たちとの連携を図る 等